

**平成25年度 食と地域の交流促進対策交付金
事業実施地区 評価一覧**

【沖縄総合事務局】

項目	A評価	B評価	C評価	計（地区）
子ども交流推進（子ども農山漁村交流プロジェクト）		1		1
観光と連携した都市農村交流推進（グリーン・ツーリズム）	4			4
定住促進	1			1
都市人材の活用推進（田舎で働き隊）		1		1
農村環境の活用推進	1			1
集落型産地振興	2	2		4
都市農業の振興				0
医療・介護の場としての活用推進				0
生活条件確保				0
地域提案型活動				0
合 計	8	4	0	12

**平成25年度 食と地域の交流促進対策交付金
事業実施主体 評価一覧**

【子ども交流推進(子ども農山漁村交流プロジェクト)】 1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H23	H24	H25	H26		
沖縄総合事務局	沖縄県	八重瀬町他	沖縄南部広域農山漁村協議会	●	●	■	—	B	計画の取組項目のうち農林漁業体験の受入数や小学校の民泊受入数については、目標を大幅に下回ったものの、多數の中高生の民泊受け入れが出来ており、受入農家や体験指導者の育成のための講習会などにより受入体制の整備を図り、体験受入を実践していることから、総合的に一定の成果を上げていると認められる。

※事業実施段階の凡例 : ○・交付対象年度(計画) ●・交付金対象年度(実施済) □・目標年度(計画) ■・目標年度(実施)

※評価の凡例 : A・(優秀) B・(良好) C・(低調)

【観光と連携した都市農村交流推進(グリーン・ツーリズム)】 4件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H23	H24	H25	H26		
沖縄総合事務局	沖縄県	南城市	「島まるごと有機の島」をつくる有機農業体験交流推進協議会	●	●	■	—	A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、昨年度の事業で作成したガイドライン・運営マニュアル及びWEBサイトを活用し、自立的に体験交流プロジェクトを実施することで、目標どおりの交流人口を確保できており、総合的に成果を十分上げていると認められる。
沖縄総合事務局	沖縄県	大宜味村	おおぎみツーリズム地域協議会	●	●	■	—	A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、『継続かつ持続可能な体制づくり』と『地域づくり』の活動を展開し、民泊事業において大きな役割を担っており、民泊受入会員の加入促進も着実に行われている。また、被災地(宮城県石巻市)との人的、物的交流で相互の絆が継続していることから、総合的に成果を十分上げていると認められる。
沖縄総合事務局	沖縄県	宮古島市	池間島暮らしツーリズム協議会	●	●	□	—	A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、島のお年寄りの暮らしの知恵や漁協との協働により地域の食をテーマにした体験プログラムを実践し、地域協働による運営体制の整備がなされている。また、島の自然学習環境を生かし、交流人口の増加や民泊体験運営者の目標をほぼ達成しており、総合的に成果を十分上げていると認められる。
沖縄総合事務局	沖縄県	石垣市	石垣島田舎体験プロジェクト実行委員会	●	●	□	—	A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、民泊体験の受入体制構築、地域資源を活用した体験プログラム開発などに向けて、受入民家の人材育成のための講習会や相談会などを実施し、受入れ地域の連携体制が構築されており、民泊による交流人数、収益、農家所得が大幅に増加しているなど、総合的に成果を十分上げていると認められる。

※事業実施段階の凡例 : ○・交付対象年度(計画) ●・交付金対象年度(実施済) □・目標年度(計画) ■・目標年度(実施)

※評価の凡例 : A・(優秀) B・(良好) C・(低調)

【定住促進】 1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H23	H24	H25	H26		
沖縄総合事務局	沖縄県	宮古島市	来間島地域ふるさと活性化推進協議会	●	●	■	—	A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、地域の空き家実態調査を行うとともに、情報発信により定住希望者と空き家所有者とのマッチングを実践し目標を上回る定住者を確保することができており、総合的に成果を十分上げていると認められる。

※事業実施段階の凡例 : ○・交付対象年度(計画) ●・交付金対象年度(実施済) □・目標年度(計画) ■・目標年度(実施)

※評価の凡例 : A・(優秀) B・(良好) C・(低調)

【都市人材の活用推進(田舎で働き隊)】 1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H23	H24	H25	H26		
沖縄総合事務局	沖縄県	国頭村	ユナムンダクマ推進クラブ	—	●	■	—	B	計画の取組項目のうち未実施な項目があったものの、「体験プログラムや交流イベントの開催、村内外のイベントでのPR活動、特産品のPR・販売などにより交流人口の増加、集落の活性化に繋がっており、テレビでも全国報道され、総合的に一定の成果を上げていると認められる。

※事業実施段階の凡例 : ○・交付対象年度(計画) ●・交付金対象年度(実施済) □・目標年度(計画) ■・目標年度(実施)

※評価の凡例 : A・(優秀) B・(良好) C・(低調)

【農村環境の活用推進】 1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H23	H24	H25	H26		
沖縄総合事務局	沖縄県	大宜味村	大宜味つばきの森地域育成協議会	●	●	■	—	A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、椿の森の管理・保全などの実践活動を通じて、育苗が軌道にのり、植樹活動等に定期的に苗を供給できるようになった。また、育成された人材がガイドや地域リーダーとして活躍し、それが新たな人材育成へ繋がり、村づくりを担う若手グループとの協働や、椿の里づくりを通して地域が一体となった体制整備が確立されていることから、総合的に成果を十分上げていると認められる。

※事業実施段階の凡例 : ○・交付対象年度(計画) ●・交付金対象年度(実施済) □・目標年度(計画) ■・目標年度(実施)

※評価の凡例 : A・(優秀) B・(良好) C・(低調)

【集落型産地振興】 3件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H23	H24	H25	H26		
沖縄総合事務局	沖縄県	伊平屋村	いへや“藁草王国・野の菜女王国”物語	●	●	■	—	B	計画の取組項目のうち、商品の加工については、事業実施期間中に加工所の確保を見込んでいたものの、計画が遅れたため、加工販売に至らず、目標が達成されなかつたが、6次産業化を目指したサトウキビ加工品については、地域住民が一体となって取組、準備が整いつつある。また、エコツアーを実施したり、離島フェアにおいて都市住民へのPR活動が好評だったりしたことから、総合的に一定の成果を上げていると認められる。
沖縄総合事務局	沖縄県	本部町	田空地域協議会	●	●	■	—	B	計画の取組項目のうち未実施な項目があったものの、「田空の駅」を中心として地域住民が参加するイベントを継続するなかで、今後、新たな体制づくりも検討されている。また、地域産業や文化の発掘により、都市との交流の取組の基盤づくりを支えていることなどから、総合的に一定の成果を上げていると認められる。
沖縄総合事務局	沖縄県	うるま市	あがいびすく協議会	●	●	■	—	A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、自治体と連携したイベントを有効に活用しながら「島の宝のこし事業」、「島の商品づくり事業」に取り組み、都市からの人口交流のみならず、地域出身者が戻ってきて島の特産品販売に取り組むなど、多方面で地域活性化に向けた取組をリードしてきたことから、総合的に成果を十分上げていると認められる。

※事業実施段階の凡例 : ○・交付対象年度(計画) ●・交付金対象年度(実施済) □・目標年度(計画) ■・目標年度(実施)

※評価の凡例 : A・(優秀) B・(良好) C・(低調)

【医療・介護の場としての活用推進】 1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H23	H24	H25	H26		
沖縄総合事務局	沖縄県	糸満市	沖縄ソーシャルファーム協議会	●	●	■	—	A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、昨年度までの事業により構築したネットワークを通じ、障害者支援や体験交流プログラムの実施が定期的に開催できており、都市農村交流人口が増加するとともに、野菜の購買により少しずつ農家の所得向上につながっていることから、総合的に成果を十分上げていると認められる。

※事業実施段階の凡例 : ○・交付対象年度(計画) ●・交付金対象年度(実施済) □・目標年度(計画) ■・目標年度(実施)

※評価の凡例 : A・(優秀) B・(良好) C・(低調)

【平成25年度食と地域の交流促進対策交付金の評価概要】

1. 食と地域の交流促進集落活性化対策

今回の評価では、平成23年度に採択された10団体及び平成24年度に採択された2団体の計12団体を評価した。

交流促進計画に基づく取組がほぼ実施され、成果も十分上がっていると認められる評価「A」が8団体で全体67%、取組が一定程度実施され、成果もある程度上がっていると認められる評価「B」が4団体、全体の33%であった。

全ての団体において、本交付金により各団体の地域の課題解決、交流推進等の取組基盤が強化され、一定の成果が出ていると認められる。

また、交流促進計画に基づく取組がほとんど実施されず、成果も上がっていないと評価された団体はなかった。

【平成25年度都市農村共生・対流総合対策交付金等評価委員会の議事概要】

【現地調査】

1. 日 時： 平成26年8月26日（火） 9時45分～11時10分

2. 場所： 沖縄県八重瀬町

3. 出席者：

・評価委員会委員 3名（五十音順）

幸喜 徳子 沖縄石油ガス株式会社代表取締役社長

武田 寛枝 株式会社リクルートライフスタイル沖縄代表取締役社長

内藤 重之 琉球大学農学部教授

・評価委員会事務局

沖縄総合事務局担当者 7名

4. 事業実施主体： 沖縄南部広域農山漁村協議会

5. 調査内容：

交付金事業の取組概要、成果等について説明を受けたのち、質疑応答及び意見交換を行った。

また、実施している体験プログラムのうち「芋掘り体験」を行う圃場の様子を確認した。

【評価委員会】

1. 日 時 平成26年8月26日（火） 15時20分～17時15分

2. 場所 沖縄総合事務局 会議室

3. 出席者

・評価委員会委員 3名（五十音順）

幸喜 徳子 沖縄石油ガス株式会社代表取締役社長

武田 寛枝 株式会社リクルートライフスタイル沖縄代表取締役社長

内藤 重之（委員長） 琉球大学農学部教授

・評価委員会事務局

沖縄総合事務局担当者 7名

4. 議事概要

1) 食と地域の交流促進対策交付金の評価について

・食と地域の交流促進集落活性化対策の実施団体の評価内容案について、委員からの意見聴取を行った。

2) 食と地域の交流促進対策交付金の評価結果案のとりまとめ

・上記1)の結果を踏まえ、食と地域の交流促進集落活性化対策の各実施団体の評価結果案について、公表用評価コメントを様式にとりまとめた。

5. 評価委員会委員の主な意見

No.1 沖縄南部広域農山漁村協議会

- ・ぐしゃんいもの収穫体験プログラムが好評で、リピーター率が高いことは効果として素晴らしい。

No.2 「島まるごと有機の島」をつくる有機農業体験交流促進協議会

- ・評価コメントのとおり

No.3 おおぎみツーリズム地域協議会

- ・評価コメントのとおり

No.4 池間島暮らしツーリズム協議会

- ・美しい景観に着目して池間湿原を活用し、地域性を生かした取組で素晴らしい。

No.5 石垣島田舎体験プロジェクト実行委員会

- ・八重山の文化、伝統芸能を生かしたプログラムが実施され、成果に繋がっている。
- ・興味をそそるプログラムが目立ち、事業実施主体としての工夫が見られる。

No.6 来間島地域ふるさと活性化推進協議会

- ・評価コメントのとおり

No.7 ユナムンダクマ推進クラブ

- ・事業実施の目的である都市部の若者の力を活用した取組はできなかったが、地域活動は成果に繋がっている。

No.8 大宜味つばきの森地域育成協議会

- ・評価コメントのとおり

No.9 いへや“薺草王国・野の菜女王国”物語

- ・売上につながる商品開発においては、商品コンセプトやニーズといった事前調査も不可欠だと思う。

No.10 田空地域協議会

- ・評価コメントのとおり

No.11 あがいびすぐ協議会

- ・イベントと連携して成果を上げているが、協議会としての取組(例えば「おばあ喫茶」など)をもっとPRすると、観光客も喜ぶコンテンツになるのではないか。

No.12 沖縄ソーシャルファーム協議会

- ・地域ブランドの野菜を活用するなど、さらなる農家所得向上に繋がる取組になることを期待したい。

担当:沖縄総合事務局 経営課 土地改良課